

競技注意事項

1. 規則

競技は2023年度（公財）日本陸上競技連盟規則及び本大会要項、申し合わせ事項によって行う。

2. 練習

- ①練習は危険防止に十分注意して行う。競技場内もしくは競技場外園路とし、集団練習は禁止とする。
（公園側園路は禁止。）
- ②会場への投てき物の持ち込みは禁止とし、練習は現地集合完了後、役員の指示により競技場で行う。
- ③トラック競技開始10分前までは競技場を開放する。
- ④フィールド競技の練習は、役員の指示により競技場で行う。
- ⑤雨天走路は、ウォーミングアップ場として開放する。ただし、雨天の場合は招集所となるため、開放しない。

3. 招集

- ①招集は競技者係の指示に従い、本人が受けること。
- ②招集時間および完了時間は下記の通りとする。

| 種目 | | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
|-------------|-----------------|----------|----------|
| トラック競技 | | 競技開始30分前 | 競技開始15分前 |
| フィールド 競技 | 走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投 | 競技開始45分前 | 競技開始30分前 |
| | 棒高跳 | 競技開始60分前 | 競技開始45分前 |

- ③招集完了時刻（移動開始時刻）に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権とみなして処理する。
- ④競技者は、招集開始時刻から招集所において点呼を受ける。その際、**アスリートビブス、競技用シューズ、衣類**の点検を受ける。その後、現地に移動をし、現地で最終確認を受ける。
- ⑤トラック種目の競技者は、競技者係から腰ナンバーカードを受け取り、右尻部につけること。（リレー競技は第4走者のみ）
- ⑥出場する種目を棄権する場合、招集開始時刻までに TIC に申し出をし、棄権届を提出する。
- ⑦複数種目を兼ねて出場する場合には、その旨を競技役員に申し出ること。
- ⑧ウォーミングアップ中のケガ等により棄権をする場合には TIC に棄権届を提出すること

4. 入退場

- ①招集が完了した者は、競技役員の指示・誘導に従ってスタート地点（ピット）に荷物をもって移動する。
- ②トラック競技はレース終了後、競技役員の指示に従って退場する。**（本部前は競技役員の指示がない限り、通行することはできない。）**
- ③フィールド競技は競技終了後、競技役員の指示に従って退場する。
- ④競技終了後、**腰ナンバーカードをゴール地点にあるカゴに入れる。**

5. アスリートビブス

- ①アスリートビブスは、登録されたものを使用する。
- ②アスリートビブスは胸（腹ではない）と背に、しわにならないように四隅をしっかりとつけ、切ったり曲げたりしてはならない。ただし、跳躍競技については1枚を胸または背のどちらかにつけるだけでもよい。

6. トラック競技について

- ①トラック種目はすべてタイムレースとする。

7. フィールド競技について

- ①走高跳・棒高跳を除くフィールド競技は**3回の試技で順位を決定する。**
- ②リレーと兼ねて出場する競技者は、競技者係および当該種目審判員主任に申し出をし、その指示に従うこと。ラウンド中の試技順の変更は当該種目審判員主任の指示によるが、次のラウンドに移った場合は、パス扱いとする。申し出を怠った競技者は棄権とみなす。
- ③棒高跳支柱移動申告について、競技者は競技開始30分前までに当該審判員に希望する支柱の位置申告をすること。もし、競技者がその位置を変更したい時は直ちに当該審判員に申告すること。
- ④走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。ただし、審判長の指示によって変更する場合もある。

| | 練習 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | |
|---------|-----------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------------|
| 中学男子走高跳 | 1m20/1m50 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 1m60 | 以降 3cmずつ |
| 中学女子走高跳 | 1m00/1m30 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m48 | |
| 男子四種走高跳 | 1m20/1m50 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m35 | 1m40 | 1m45 | 1m50 | 1m55 | 160cm以降3cmずつ |
| 女子四種走高跳 | 1m00/1m30 | 1m10 | 1m15 | 1m20 | 1m25 | 1m30 | 1m33 | 1m36 | 1m39 | 以降3cmずつ |
| 中学男子棒高跳 | 2m00/3m00 | 1m80 | 2m00 | 2m20 | 2m30 | 2m40 | 2m50 | 2m60 | 2m70 | 以降 10cmずつ |
| 中学女子棒高跳 | 1m60/2m50 | 1m40 | 1m60 | 1m80 | 2m00 | 2m20 | 2m30 | 2m40 | 2m50 | |

8. 競技からの除外

競技運営上必要と認めた場合、審判長がレース中の競技者を中止させることがある。

9. 混成競技について

両日共に第1種目のみ、招集時刻に従い、招集所にて競技者係より招集を受けた後、現地まで移動すること。第2種目以降の招集は現地にて行う。

10. リレー競技について(リレーオーダー用紙はTICに準備)

- ①リレー競技に出場するチームはリレーオーダー用紙を1部作成し、**招集完了時刻の60分前までにTICに提出すること。**(顧問のサインを忘れないこと)
- ②招集は出場選手全員がそろった状態で、招集所にて行う。
- ③リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニフォームを着用することが望ましい。
- ④**バトンとダッシュマークは主催者で準備する。**

11. 用器具

- ①棒高跳のポール以外は競技場備え付けのものを使用する。
- ②スパイクの長さは、走高跳は12mm、その他は9mm以下とする。
- ③**シューズ(スパイク・ランニングシューズを含む)の厚さについての今大会の規定は以下の表に準ずる。**

| 種目 | 靴底の最大の厚さ (TR5.5, TR5.13.3) | 要件・備考 |
|--------------------------------|-------------------------------|---|
| 投擲種目・跳躍種目 ※三段跳を除く | 20mm | 全投擲種目と高さを競う跳躍種目に適用。 全投擲種目と跳躍種目で靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。 |
| 三段跳 | 25mm | 靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。 |
| トラック種目 ※ハードル種目を含み、800m未満の種目 | 20mm | リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて、適応する。 |
| トラック種目 ※800m以上の種目 | 25mm | リレーにおいては各走者が走る距離に応じて適応する。 |

12. 番組編成及び結果発表

- ①各種目の結果発表は、アナウンスで行わず、競技場正面入り口外の掲示スペースにて掲示する。
- ②各種目の入賞は8位までとし、賞状を授与する(競技終了後、各校の顧問はアナウンス室へ取りに来ること)。

13. 抗議

日本陸上競技連盟規則146条により申し立てを行う。

13. その他

- ①プログラム記載事項に訂正がある場合には、顧問が取りまとめ、競技役員打ち合わせ開始前までに訂正内容を持って本部まで申し出ること。
- ②セパレートレーンを使用する競技においては、フィニッシュ後は該当レーンに沿って走り抜けること。
- ③ホームストレート側(本部前からフィニッシュライン付近まで)を通行しないこと。ただし、競技終了後の選手のみ役員員の指示のもと通行可とする。
- ④競技場内外のアスファルト部分へはスパイクで入らないこと。また、競技場内の芝生内、スタート位置後方、フィニッシュ位置後方に立ち入らないこと。
- ⑤競技中に発生した事故などについては応急処置を主催者側で行うが、以後の責任は負わない。また、体調が悪くなった者は医務員の指示に従うこと。
- ⑥更衣室では更衣のみを行い、私物等を置かないこと。
- ⑦各自の持ち物については自分自身で責任をもって管理し、盗難に注意すること。
- ⑧ゴミについては、各自必ず持ち帰り、競技場・駅・バス停など公共の場に捨てないこと。
- ⑨大会主催者から指定された場所以外でのテント張りは禁止する。
- ⑩テントやタープは、ロープなどを使って手すりなどに固定し、強風で飛ばないようにすること。
- ⑪横断幕はメインスタンド最上段手すりのみとする。のぼりはメインスタンドサイド階段フェンス部分のみとする。
- ⑫スターターより「ON YOUR MARKS」がかかったら、選手が集中できるように競技場全体で音を出さないように配慮すること。スタートの付近では特に気をつけること。
- ⑬競技者が号砲前にグラウンド（地面）及びフットプレートから手や足を離した場合、不正スタート（フライング）となり、当競技者は失格となる。
- ⑭新型コロナウイルス感染拡大防止対策は緩和されたが、各自・各団体注意して本競技会に参加すること。
- ⑮熱中症予防策として、日本スポーツ協会が定める熱中症予防運動指針に従い、WBGT31℃を超えた場合には競技を中断し、本部で協議する。原則としてWBGT31℃以下になるまで競技は中断とし、中断時間が2時間を超える場合には本大会の以後の競技については中止とする。
- ⑯生徒による携帯電話・スマートフォン・ビデオカメラ・音楽再生機器等の電子機器の使用は禁止とする。保護者の撮影はメインスタンドのみ可とする。顧問による撮影は指導に生かすための撮影のみ可とする。